

学生時代、いつも胸ポケットに小さなノートを忍ばせていました。
それはA7サイズのメモ帳だったり、あるいは少し大きめのものだったり。
そしてそこに書くのはいつも、取るに足らない創作のアイデアでした。

というのも、ふと思いついたアイデアをひょんなことで忘れてしまうのが、どこかもったいないことのように思えたからです。

だから当時は、それをどう活用するかなんて全く考えずに、ただただ何かを思いつくたび、それをメモしていました。

それゆえに、条件反射で因縁のある教師の名前の横に『クーデター』とだけ書いたら、ノートを落とした際それを友人に見られてしまい、本当に本当に死にたくなったりしたこともあったのですが、それはまあさておき。

そんな、ずうっと書き連ねてきた、創作のネタの種たち。

実はそれらは、今もすぐに見られる状態にあったりします。

ある程度溜まったら取捨選択した後、ぽちぽちと手動でデータ化していましたし、後に創作活動を始めてからは、その上からネタを書き足すようにしてきましたので。

しかしだからといって、それらが日の目を見る機会は、ほとんどないでしょう。

そもそも学生時代うんぬん関係なく、ネタ帳に書かれてあるものの9割以上は、正直ゴミといっても過言ではないものです。

残りの1割の中で、何とか見えそうなものを引っ張りだし、ツギハギし、そうしてようやく、衆目に耐えうるものを練り上げてゆく。

そういった工程を取らなければならないほど、取るに足らないものが多すぎるネタ帳となってしまっています。

ただ、絶対に日の目を見なくても良いというわけでもありません。

いつか、どこかで活用できるかも知れない。

その気持ちがあるからこそ、未だ大事に取っておいてあったりするのです。

……はい、お察しの通り、わたくし断捨離が苦手です。

あれもこれもいつか使うんですよ、いつか！

さて、ひょんなことからASMR音声にハマって、しばらく経ったある日のこと。

ぼうっとネタ帳を見ていると、今までは切り捨ててきたあのネタもこのネタも、音声作品としてなら日の目を見させてあげられるんじゃないか、という事実気がついたのです。

もちろん使えそうなものが増えたといっても、9割だったものが、しょせん8割5分になったという程度ではあります。

しかしそのわずかでも開いた可用範囲の中に、学生時代にふと思い浮かべたアイデアを、1つ2つだけでも入れられたなら。

それはきっと、素敵な事ではないかなと、そう思いもしたのです。

そういった想いから、新たに立ち上げるサークルを、『むねポケノート』と命名することにしました。

上手く活用出来ずじまいだった、在りし日のアイデアを活かせる日を夢見て、これから細々と活動していく予定でございます。

何卒ご愛顧のほど、よろしくお願い致します。

……え？ 胸ポケットはむなポケットって読む？

いたぞ！ むなポケ派だ！ 連れて行け！！

(軽く調べたところ、基本はどちらでも良いそうです)

＝－＝－＝－＝－＝－＝－＝－＝－＝キリトリセン＝－＝－＝－＝－＝－＝－＝－＝－＝

改めまして、むねポケノート初作品『何かをたくらんでる後輩ちゃん』をお買い求め頂き、誠にありがとうございました。

最初の作品ですので、割とオーソドックスなストーリーラインで、でもちょっとだけキャッチーな要素入れたいなー、などといった考えの元、うんうんうなりながら紡ぎ上げた作品となっております。

……ええと、はい、この作品に関しては完全新規で練りました。あれだけ学生時代のメモ帳だー何だーと言ってたのは、一体なんだったんでしょうね……。

ま、まあ、次はネタ帳の出番もあるでしょう、きっと……。

とまあそんな感じで物語は考えたんですが、もちろんト書きの書き方なんて分からないし、音声編集の仕方分からないし、なんなら友人以外には自分から依頼出したことさえなかったし、花粉は酷いし、花粉は酷いし、花粉は酷いし……(以下エンドレス)というまさにバブバブ赤ちゃん状態でもありました。なのでもう本当に、鼻水垂れ流しつつ**だおーだおー**言いながら、なんとか完成まで持っていったという次第です。

ですのでお楽しみ頂けたなら、冥利に尽きるといったところでございます。

……しかしまあ、何というか、出す時期が少々遅かったですね……。

内容的には、本来2024年のバレンタインぐらい、遅くても3月初めぐらいには出さなければいけなかったと思うので、本当に反省しきりです。

というか、台本なんて書いたこともなかったのに、多分いけるでしょーなんて気楽な気持ちで始めちゃったのもう大変でした。

2月頭にはもろもろ発注し終わっててーなんていう青写真を描いていたのに、気がついたらもうバレンタイン間近で、いつの間にか「バレンタインまでには絶対完成させるぞ！」となっていたのですが。

結局、台本が完成したのは、2月16日でした。バレンタイン云々どこいった。

そしてその後も声優さん始め様々なクリエイターの方々のご助力を賜りつつ、全く触ったことのないDAWの操作方法を一人で泣きながら覚えていったり、宣伝アカウント作ったり販売登録したりもして……ようやく、予定より大幅に遅れながらも、リリースまでこぎ着けることが出来ました。

……あのですね皆さん、ASMR作品って一つ作るのに、ものすごい色んなことしなきゃならないんですよ……。

え？ 知ってる？ あ、はい……。

いやでも、すごいですよね世のサークルさん達。ホント尊敬します。

あと、プロってやっぱすげえっす。普段さらりと聴いているものでも、実際は滅茶苦茶高度な演技とか処理とかされてますし、あとは構図とかも緻密に考えられてるものですし。ばねえっす。

ともあれ、本当に見通しの甘さがなければもっとスムーズにリリース出来たと思いますので、しっかり反省して、今後の糧にしたいと思っております。

~~~~~

ところで。最後までお聞き頂いてから、これってどうなの？ と思われたり、あるいはおまけの手紙までお読み頂いた後に、あれ？ 特に迷惑かけてないみたいに語られてるけど、ちょっとおかしくない？ と、疑念を持たれた方もいらっしゃると思われます。

……そう。実はこの後輩ちゃん（つきみちゃん）のたくらみ事には、大きな大きな欠陥が1つ含まれているのです。

……え？ どうせL10Eとかでいつでも連絡は出来るんだし、今すぐOKしてもいいじゃん論法ですか？ い、いや、それは違いますよ！ どうせそんな関係、数ヶ月もすれば絶対自然消滅しちゃいますって！（暴論）

その欠陥とは、もし告白がOKだったとき、先輩（主人公）は少なくとも1年は生殺し状態になってしまう、という点にあります。

まあ当然ですよ。合格するまで返答しないでくれってお願いされてますし、強引に言えば勉強のやる気を削いでしまう結果にもなってしまいます。

つまり元々好きだったとしても、あるいは告白で気持ちに気づかされたとしても、結局その気持ちを吐き出す機会はなく、ただただ宙ぶらりんのまま過ごしていかなければなりません。

しかも最後の最後、悪知恵を働かせた後輩ちゃん（つきみちゃん）に、あんなお願いまでされちゃいましたし……これは正直、酷ですよ。ねえ……（ニチャア……）

しかもたちが悪いことに、これ後輩ちゃん（つきみちゃん）本人は気づいていません。本人はこれ以上ないくらい、先輩（主人公）に負担を掛けないよう、色々考えた末の策略だったのですが……唯一、相手の視座で考えてみるという点だけが欠けていたんですね。

まあ時折、そんなに自分に自信がある方ではないという面も見え隠れしていたとは思いますが、基本的に告白が断られることを前提として動いてしまっていたのもいけなかったのでしょうか。

と、いうわけで。

こちらの作品、続編の構想だけは、一応用意してあります。

好評だったり、予算に余裕があったり、クリエイターの皆様方の都合がつかたり、何よりこちらのやる気が有り余るほどだったり、諸々の歯車がガッチリかみ合った場合は、もしかしたら……といった感じですので、もしご希望される方いらっしゃいましたら、感想なり何なりをお寄せ頂きますと大変幸いです。

ただ基本的にはまだまだ駆け出しの状態ですので、新規作品に比重を置いて活動していくという点は、予めご了承頂ければと思います。

~~~~~

さて。そうした勝手知らぬ状況ですので、おまけフォルダも無節操に詰め込んでしまい、何だかゴタゴタした感じになってしまっておりますが、ここで少しだけ触れさせて下さい。

まず、本編ではあえてさらりと内容を触れるだけとしました、物語のキーとなるアイテム『手紙』。本編だけでもどんなことが書かれてあったかはくみ取れるようにさせて頂いたつもりですが、一応補完のために、こういったものを別途作らせて頂きました。

そして、ガラガラと書き連ねているこの後書きと、台本と……それから、もう一つ入れさせて頂いたものがございます。

それが、『05b-しっとりver』なるファイルです。

そもそもこの物語は、『普段天真爛漫が後輩ちゃんが、先輩が見ていない時にだけ本心をさらけ出し、しっとりとした一面を見せる』という部分を、ある種の肝として構築していた面がございました。ゆえに演じて頂いた雪乃しろさんにも、そのコンセプトやニュアンスを重点的に伝えさせて頂き、その結果こちらが考えていた通りの素晴らしい演技をして頂いて、こちらとしては非常に大満足……だったのですが。

実は事前にサンプルボイスをお願いした際に、その該当部分を指定させて頂いたのです。そうして送られてきたものは、こちらのイメージと少しだけズレていたため、そこは修正させて頂いたのですが。その後サンプルボイスを何度も聴けば聴くほど、ドンドンそちらの演技の方が良いのではないかという気持ちが鎌首をもたげてきたのです。

そうして受け取ったボイスデータを聴き、それでもその気持ちを拭い去ることが出来ず。厚顔無恥ながら、別テイクをサンプルボイスの雰囲気そのままをお願いしてしまいました。

この時点で、大変厚かましいお願いを快く聞いて下さった雪乃しろさんには、感謝してもし足りないのですが……送られてきたデータを聞いて、私は思わず頭を抱えました。

というのも、どっちも良くて、正直 **選べない……！！** となったからでして。

実は、本編『05-左の耳かきは本音を添えて』には、この別テイク……つまり『シニカルなイタズラっこ』ともいうべきニュアンスで演じて頂いたものを採用しております。

そして『05b-しっとりver』はその名の通り、本来こちらが想定していた『しっとりとした素で本音を吐露する天真爛漫っこ』というニュアンスで演じて頂いております。

またそれ以外、つまり耳かきが終わるまでの音声は、全く同じものとなっています。

ですのでお好みに応じて、05 のファイルのみを差し替えて頂き、どちらの方が好みか聞き比べて頂ければと思っています。むしろこちらが選ぶのを放棄したという感じですので、是非ご自分なりの正解を導き出して頂ければと思います。x=05 かつy=05b にて解を求めよって感じですよ。すいません、いま滅茶苦茶とち狂ったこといいました。

~~~~~

と、だらだらと書き連ねてしまいました。

まだ書き足りない事や次回作の告知などは、X (<https://twitter.com/munepokenote>) や、ci-en (<https://ci-en.net/creator/24390>) などのサービスを使っていこうと思っておりますので、興味がございましたら是非フォローのほど、よろしくお願い致します。

それでは、ここまでお付き合い頂き、ありがとうございました。

次回作にてお目にかかれることを祈りつつ……こちらは、山積みになっている販売登録作業に戻ろうと思います。うう、むずいことだらけ……。